

学校名 江南町立江南中学校

所在地 江南町中央 2 - 1 - 1

電話 048 - 536 - 1335

1. 本校の概要

江南町は北に荒川が流れる自然が豊かな町で本校は町にある唯一の中学校である。1年から3年まで4クラス並行、特殊学級1クラスの計13クラスの中規模校で、一町一校ということで町の方々から大変愛されている中学校でもある。生徒は、純朴で素直であり、現在、学校行事・部活動・学習に熱心に取り組み、落ち着いていつ中にも活気あふれる雰囲気のある学校である。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校は平成14年度より、朝の一斉読書に取り組んでいる。現在4年目を迎え、朝の読書は生徒にも教員にも定着しつつある。また、同年から町の予算で学校図書館補助員が配置されている。江南町の住民であり、ボランティアとして朗読の会でも活躍されている。生徒にとって図書館専属の先生として慕われ、頼りにされている。学校の図書館運営に深く関わっていただき、図書館の雰囲気が以前に比べ格段に改善されてきている。図書館は、性著にとって心のオアシスとなっている。

朝の一斉読書（朝の15分間）

- ・年間を通して実施（但し17年度は、読み、書き、計算の朝自習が適宜入る）

学期に一度の「読み聞かせ」



- ・毎学期末に一度ずつ読み聞かせを実施（町の朗読ボランティアの方による）
- ・読み聞かせの感想集を作成（図書委員会）
- 図書委員会の活動と図書館補助員との連携**
- ・朝読書の本の紹介掲示板作り
- ・「季節の詩」の紹介
- ・「読書の木」の作成
- ・図書だよりの発行（ベストリーダー・クラスの発表と表彰）
- ・「朝読書のしおりの回収と紹介」



(2) 家庭との連携、地域との連携

地域ボランティアの活用

- ・町の朗読ボランティア「せせらぎの会」による学期に一度の読み聞かせを、各クラス単位で行っている。

町の図書館ピピアとの連携

- ・町の図書館が近いので、総合的な学習の時間など調べ学習を行うときには、生徒が授業時間に活用できる。

3. 成果と今後の課題

- (1) 朝読書の実施により、生徒たちが大変落ち着いて1時間目の授業に取り組むようになった。
- (2) 読み聞かせや朝読書によって、生徒の読書の幅が広がってきた。
- (3) 生徒たちにたくさん足を運んでもらえる魅力ある図書館づくりを目指したい。
- (4) 家庭に向け、図書だよりを通して読書の薦めをしていきたい。